



題字 井口 文章  
再刊 第516号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2026

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面・全力で1年生を楽しませた新入生歓迎会！  
新企画 文藝部コラボ「紫羅蘭花」連載開始  
二面・テフリンピック特集最終回！  
聴導犬知っていますか？

# 新入生も錦城に仲間入り！

## 新入生歓迎会が実施されました！

4月9日(木)に行われた新入生歓迎会。入学したばかりの64回生をハレルヤ合唱や部活動が歓迎した。その様子をお伝えする。



オーケストラのハレルヤで一年生をお出迎え

はじめに、体育芸芸委員長の小野颯汰さん(3B)が64回生にメッセージを送る。何の通称ハレルヤ隊によるへか困ったことがあれば、何でもハレルヤのオラトリオ「メサイア」で入る部活が決まると話した。第二終曲「ハレルヤ・コーラス」の合唱が行われた。昨年の人も先輩の話聞いてるとは異なり、オーケストラと有意義な時間にしてほしいで「ハレルヤ」の和声が、まさに64回生と語った。

次に、吹奏楽部、室内楽部、旧1年音楽クラス選抜メンバーの入学を祝福し歓迎しているようだった。

### 心奪うパフォーマンス

剣道部は、部長の「礼」の掛け声から始まった切り返し、面うち、小手打ち、小手面、胴打ちなど普段の稽古の様子を紹介。迫力のある竹刀の動きに新入生の目が釘付けとなった。経験者、初心者関係なく居心地の良い部活で、剣道の段位を取得することもできると魅力を語ってくれた。

体操部は毎年恒例の洗練されたパフォーマンスを。Mrs. GREEN APPLE「Star」の明るいポップなサウンドに合わせ、様々な技を決める体操部員たち。極めつけは体操部男子部長さんが大技、後方宙返りを決め、体育館は熱狂の渦に包まれた。後方で鑑賞していた生徒たちの中には思わず立ち上がって拍手を送る新入生の姿が見えた。

見事なスパイクで男子バレーボール部は、会場を盛り上げた。男子バレーボール部の名前が呼ばれると、大勢の部員が一瞬でネットを張りバレーコートを作り上げスパイクを始める。背番号一番の選手に「注目ください！」と声が響き、強烈なスパイクが繰り出されて、一年生は感嘆の声を上げていた。

### 新入部員を魅了

真つ白の空手道技に身を包んだ空手道部の男女6人。体育館内が静まり返る中、空手道部による女子団体形、男子団体形が始まった。一糸乱れぬ全身全霊の演技に誰もが魅了された。道着がすれる音や踏み込む音が体育館内に響き渡っていた。動きの一つ一つが洗練されており、思わず見入ってしまう新入生の姿も見られた。

軽快なリズムと共に体育館後方から入場してきたのは吹奏楽部。ドリルステージという演奏しながら行進するパフォーマンスを披露した。お揃いの青と白のユニフォームに身を包んだ部員による圧巻の演奏に体育館内の熱気が一体となった。

昨年度に続き高いクオリティのダンスを披露したダンサーズ。女子のダンスは全員息がそろっておりまさに一心同体であった。男子のダンスは、ダイナミックな回転を組み込んだブレイクダンスを見事に踊りきり、体育館は驚きの声で溢れていた。

各部活が気合を入れて、新入生を楽しませようと企画した新入生歓迎会。昨年よりもパワーアップした会を楽しんで、ぜひいろんな部活動体験をしに行ってもらいたいと思う。そして、錦城ライフを満喫しよう！

「もう、高校生か」  
4月の桜が満開の頃、僕は高校生になった。僕は人と話すことが苦手でクラスに馴染むことができなかった。それに加えて特技もなかったから部活に入ることもしなかった。  
桜が散り始めた地面に桜の花びらが溜まる頃、僕はこの日までもう少しが話しながら食べていた。  
「おっ！ それおいしそうだね！」カリーの弁当を頬張っている声をかけられた。声をかけてきた人は、僕と同じくらいの背丈で眼鏡をかけていて影がなかった。君は誰、と聞くとその人は答えた。  
「私は幽霊なんだ」  
(文藝部2年 暁カイ)  
次号に続く

その場の雰囲気に合わせて  
新入生歓迎会の司会を担当したのは、美術部部長の渡邊心咲さん(3C)と文芸部部長の松井幸さん(3K)。感想を聞くと、開口一番「楽しかったです！」と笑顔を見せる松井さん。



行事の話をはさみ、場をつなぐ

「司会「楽しんでもらえたら嬉しい」」  
さん。リアルタイムのため、トラブルが発生した時に間を持たせるのが、大変だったというが、それが楽しかったのだと教えてくれた。  
一方で、振り返って「緊張しました」と話すのは渡邊さん。司会によって、新入生歓迎会の内容や雰囲気は左右されるうえ、スムーズに先生方からの要望を実現しないといけないのが緊張したそう。

## 新入生インタビュー



「興味を持った部活動は…」

新入生歓迎会後、取材に応じてくれたのは小川真緒さん(1I)、高塚泉さん(1I)、小野塚舞さん(1I)の三人組。それぞれ「様々な部活がたくさんあって、とても楽しかったです」「特に体操部のパフォーマンスが素敵でした」「部活の種類が豊富なのでどの部活に入ろうか迷ってしまいます」と感想を聞かせてくれた。中学校の頃は吹奏楽部に所属していたという高塚さんは体操部が気になっているという。また、高塚さんは座席しかたがなかったそうで、ドリルステージにとても感動したと話してくれた。  
「吹奏楽部のドリルステージのマーチングが息ぴったりですごかったです」「どの部活もとてもかっこよかったです」と話してくれた武井映羽さん(1D)と有吉果徳さん(1D)。武井さんは室内楽部の演奏や演出の仕方に魅了されたようで、見学に行ってみようかなと話してくれた。放送部と映画研究部が気になったという有吉さんは、話したり演技したり自分を表現できるものに興味があるようで、一から何か作りたいと思ったそう。

## 紫羅蘭花

文藝部とのコラボ企画『紫羅蘭花』連載第一号。本企画は、文芸部有志のみならず、毎号書き手を変えて話を紡いでいく。5回で完結の予定だ。ぜひ楽しんで読んでほしい。  
\* \* \*

## むらさき草

おぎやあと泣く赤ちゃんを「よしよしよしよし」とあやす声、会社で「我が社の経営方針を発表します」と話す声というアロップが漫画調のイラストとともに流れる。なんのCMだろうかとテレビを食い入るように見ていた私は、「聞こえてきたのは、女性の声ですか？」と無意識のうちに、最初の声を女性、あとの声を男性で再生していたからだ。このACジャパン「聞こえていた声」のCMで、赤ちゃんの世話は女性の役割、会社のトップは男性の役割と思いついたと気づかされた▼佛教大学文学部の稲永知世先生によると、男女の役割に対する固定観念はまだ根深く残っており、男女のステレオタイプは、普段から無意識に目にしている「ことば」や「絵」といったさまざまな記号に大きく影響を受けているという。例えば、教育の場で見られる教科書のイラストにも、ステレオタイプが反映されたイメージが描かれていたりする(夢ナビ講義 No.12790「うしき」)って何？ 私たちの言語文化に潜む無意識の固定観念とは▼以前読んだ神戶遙真さんの小説「笹森くんのスカート」は、学校にスカートで登校した男子生徒・笹森に周囲がLGBTQなのではと過剰な配慮をする場面がある。タイトルの表紙から、私も笹森のクラスメイトのように彼の背景を深く想像していた。しかし読み進めていくうちに、私も「スカート」を履く男性はLGBTQだと思込んでいたことに気が付き、はっとさせられた▼そのような固まった姿で相手を見てしまっていた。あれをしているから、これを目指しているから、なにを着ているから、といった前置きをやめて、その人自身を見ていきたい。(桃)

映像の世界に  
映像研究部  
3階視聴覚Bで待ってるよ！

あなたのスキル  
生かしませんか？  
映画研究部  
新校舎7階

新入生を、変えよう  
新校舎 7Fへ

放送部  
初心者大歓迎！  
来てね！

# 音を届ける小さなヒーロー

## 特集 ユーザー松本さんと聴導犬チャンプさん 錦城に来校

### 全国にたった52頭の聴導犬

昨年11月に東京2025デフリンピックが行われた。編集部では夏からデフリンピック特集を行ってきた。最終回は錦城生の親の紹介でNPO法人日本補助犬情報センター理事の松本江理さんと聴導犬のチャンプさんに取材した。(63回生編集部)

#### 聴導犬って知っていますか？

2月14日(土)の法人日本補助犬情報センター理事の松本江理さんと聴導犬のチャンプさんに錦城に来校していただいた。今回、錦城生の保護者からの紹介で、松本さんとチャンプさんの取材が実現した。取材依頼に快く応じていただいた松本さんは現在、NPO法人日本補助犬情報センターで補助犬の認知度を上げるための活動をされている。松本さんのパートナーである



### 聴導犬と法律

#### 聴導犬の歴史調べてみた

聴導犬の発祥は1919年のアメリカと言われている。「家の中で鳴る音に反応する様に、犬を訓練してくれませんか」とある女性がラジオ番組に投稿したことがきっかけで、「ヒアリングドッグ」が誕生した。日本では警察犬の訓練所でアメリカでの写真や文献を参考にして聴導犬の訓練方法を考案していく。試行錯誤のすえ、4頭のモデル犬が誕生し、埼玉で無償貸与されて日

#### 施設にもユーザーにも義務

本で初めての聴導犬が誕生した。当初は各訓練所が独自の基準により聴導犬を認定していたが、2005年10月「身体障害者補助犬法」が施行された。基準が統一された(公益社団法人日本聴導犬推進協会HPより参照)。

身体障害者補助犬法は、身体に障がいのある方の目や耳、手足となつて働くよう訓練された盲導犬、聴導犬、介助犬の総称を「身体障害者補助犬」とした。それぞれ一定の訓練基準により訓練され、国が



聴導犬のチャンプさん  
松本さんによると聴導犬はゲーム感覚でお仕事をしているそう。だからユーザーは聴導犬がいつでも音を教えるゲームを楽しめるようにしなければいけないという

最近ではSNSで晒されることもあるそう。昨年は、駅のホームでチャンプさんと一緒にいるところを撮られ「あんなどころにケージにも入れていない犬がいる」とアップされたことがあった。けれども、そのSNSの投稿に対して「あれは聴導犬だからホームにいていいんだよ」と擁護してくれる人も増えてきている、と松本さんは話す。

#### チャンプさんへの対応

松本さんによると、聴導犬のお仕事の中で特に助かることは、どこにいても聴導犬が松本さんを音の鳴っている所まで連れて行くこと。松本さんがタイマーの音に気付かずうたた寝をしていても、チャンプさんは飛び乗って起こしてからタイマーの音を教えてくれる。

聴導犬は何の音が鳴っているのかまでは伝えられない。松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

### 松本さん「理解を広げたい」

#### ★チャンプさんのお仕事を見学★

インタビュー後、聴導犬チャンプさんのお仕事を見せてもらった。タイマーを15秒後に鳴るよう設定し、松本さんが少し離れた椅子に座る。タイマーが鳴ると、チャンプさんが駆け寄り前足で松本さんに寄りかかった(写真①)。松本さんが「どこ?」と言いながら立ち上がると、チャンプさんはタイマーの机の下まで走って、タイマーに向かって飛び跳ねた(写真②)。松本さんがタイマーを止めると、チャンプさんは大人しく座った。タイマーが鳴った瞬間にお仕事モードに切り替わったチャンプさん。その格好良さに目を奪われた。



ねえねえ音が鳴ってるよ



ここだよ!

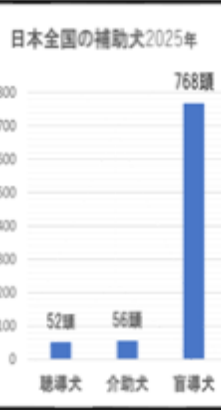
松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。



チャンプさんの付けている表示



補助犬内訳。日本で活動する補助犬は約850頭。とりわけ聴導犬や介助犬の数は少ない。(日本補助犬情報センターより参照)



お仕事終わりで一息

### 錦城生「初めて聴導犬に会いました」

二つ目は、スタッフが声だけで対応しようとしていたこと。松本さんはデフリンピックの会場で迷子になってしまった。気付いたスタッフが声をかけてくれたそうだが、松本さんは肩に触れられるまで気づけなかった。その後、何行われたりしたのは、過去一〇

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

### どんな人でも好きを楽しめる社会に 松本さんの日常を聞いてみた

なにも男子のライブ! 皆さんは聴覚障がいを持っている方がどのように演劇や映画、ライブを楽しむかご存じだろうか。実は、台本タブレットや字幕眼鏡などがあるのだという。台本タブレットというのは、演劇の台本や歌詞が書かれていて、いつ誰が何を話しているのかよくわかるようだ。字幕眼鏡とは、かけた眼鏡の下側に字幕が表示されるものだ。これは演劇だけでなく映画館で映画を見る際にもとても役立ち、字幕上映がやっていなくても思い立ったら行けるところが便利だという。また、松本さんは「なにわ男子」のファンなのだそう。ライブではメインモニターにアイドルの顔、そしてサブモニターの歌詞テロップを見て、今この歌を歌っていると理解し、MCでは手で音声認識アプリを起動して恭平さんまた変なことを言ってるな、などがわかると楽しそうに話した。「昔は障がい者はどうやって生きていこうかを考えなければならなかった時代だったけど、今は好きなことを楽しめるようになるための方法を考えています。聴覚障がい者だって旅行は行きたいし、美味しいものは食べたいし、ライブも行きたいんですよ。だんだん壁は下がっていると思います。」と話してくれた。



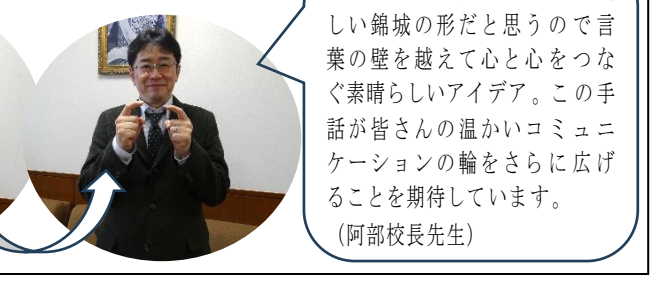
聴覚障がいの周知についてみんなで話した

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

松本さんによると、先ほど音か鳴っていること自体に気が付くことができない。例えば、電車に乗っている際に遅延が起きたとき、車内アナウンスで状況が説明されるが、聞こえない人は放送自体がわからないうえに、気が付かないし、気づいていないから一見すると困っているように見えない。「聴導犬が自分が見えない自分自身に気が付かない状態に陥っている」と、松本さんは説明してくれた。

### 手話を覚えよう! ①9最終回

今回手話を実演して下さったのは、阿部一郎校長先生。紹介するのは「錦城」という手話。「錦」は親指と人差し指で丸を作り他の指を伸ばす。本来は「金」という手話だが、手話では音が同じ別の単語で代用することがある。「城」は両手の人差し指以外を握り、人差し指を軽く曲げる。手話を覚えよう!のコーナーもこれで終わり。皆さんも手話をやってみて下さい!



これは手から紡ぎだされる新しい錦城の形だと思うので言葉の壁を越えて心と心をつなぐ素晴らしいアイデア。この手話が皆さんの温かいコミュニケーションの輪をさらに広げることを期待しています。(阿部校長先生)